

## 産直登録バナナ 『ホムトンバナナ』で応援します!

～『次世代農家のためのホムトンバナナ栽培指導プロジェクト』支援～

「安全・安心なバナナが欲しい」という声からタイのバナナ生産者と一緒に始めた『産直登録バナナ』も今年で20年を迎えました。ホムトンバナナ20周年事業として、『次世代農家のためのホムトンバナナ栽培指導プロジェクト』への支援を行うことになりました。

### 子どもたちのためのプロジェクト

- このプロジェクトは、古くからよどがわ生協にバナナを出荷しているトゥンカーワット農園経営農民会が主体となってます。
- 農民会の生産地域内にある学校に参加をよびかけ、農民会が用意した土地に子どもたちがバナナの苗を農民会の指導の下で定植し、出荷まで自ら行います。
- できたバナナは出荷基準を満たすものは農民会を通じて日本へ出荷する予定です。
- バナナ販売で得た収入は学校と子どもたちに還元されます。
- バナナだけではなく、野菜の栽培もあわせて実施し、タイ国内に出荷します。
- 現在はサハコンパタナ中学校の一年生2クラスの生徒75人が参加(週1回約3時間)して300本を作付け栽培しています。またミットアーリー地区で青少年10人が参加して700本を作付けし、1000本まで増やす予定です。その他数校から実施要請があります。
- 苗代や肥料代などの費用はできるだけバナナの販売で賄う構想ですが、子どもたちは農作業後のお菓子や飲み物を楽しみにしており、その費用が予定外に必要となっています。



### 後継者を育てることが重要課題に

#### バナナ農家の現状

「子どもには公務員になってほしい」と考える農家も多くなっています。トゥンカーワットでもバナナ生産者は50歳～65歳が主流となっており、このままではバナナの生産が大きく減少しかねません。この地域の農業はゴムとパーム椰子が基幹作物で、農業収入に占めるバナナの割合は2～3割程度です。長い年月をかけて築きあげてきた栽培中農薬不使用のホムトンバナナの生産技術と、日本への出荷を継承していくために、若い世代にバナナ栽培を経験してもらうことで、次世代バナナ農家を育成することが重要課題となっています。

#### 子どもたちに興味をもってほしい

バナナの栽培指導だけでなく農業後継者が育成できるわけではありません。農作業に接する機会が少なくなっている子どもたちが、このプロジェクトを通じて農業に興味を持ち(実際に参加した子どもや先生からそういう感想が寄せられています)、それが将来のバナナ生産につながることを期待しています。



## よどがわ生協の支援

### ① 経済的支援を行います

- 2012年12月1回～よどがわ生協で供給するホムトンバナナ1袋につき1円をプロジェクトへの支援とします。(供給価格は変更しません。生協から拠出します。年間約20万円を見込みます。毎週農作業に従事する子どもたちのお茶菓子代1年分をまかなえる金額となります)
- 支援期間は1年間とします。その後の支援についてはこのプロジェクトの進捗状況を見ながらあらためて検討します。

### ② 生産者や子どもたちとの交流を行います

- 子どもたちが栽培したバナナの出荷は2013年5月～6月ごろから開始される予定です。該当のバナナには特別な生産者カードをつけてお届けし、利用した組合員から子どもたちへ応援のメッセージを募集します。
- 組合員の代表がメッセージを持参し、子どもたちと交流する予定です。



産直登録  
バナナ 700g/294円

毎週 隔週 4週に1回の登録が選べます!

「産直登録バナナ」ご希望の方は  
配送担当者に申し出ください。



<http://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索

今月の生協さん  
第2支所



茨木地区担当 寒い日が続きますが、いつも笑顔で  
小阪 洋平(ようへい) 楽しく配送しています。



よどがわ市民生活協同組合は  
環境マネジメント  
システムに基づいた  
とくみを行なっています。

エコアクション21  
認証・登録番号0008727